

エシカル消費で未来が変わる!

私たちが普段食べたり、着たり、使ったりしているものは、どこかの誰かが作ってくれたものを誰かが運び届けてくれたものです。でも、その過程で、自然や動物が犠牲になっていたり、誰かが長時間のつらい労働を強いられて、健康を脅かされているかもしれません。また、いらなくなれば環境に負荷をかけて廃棄されているかもしれません。

「環境、人や社会、地域に配慮した消費行動（エシカル消費）」が注目されています。できることは意外と身近にあります。無理のない範囲でエシカル消費を取り入れてみませんか。

環境への配慮

- 再生可能・自然エネルギー
- 有機農産物・綿
- カーシェア・サイクルシェア
- 省エネ商品
- リサイクル・アップサイクル



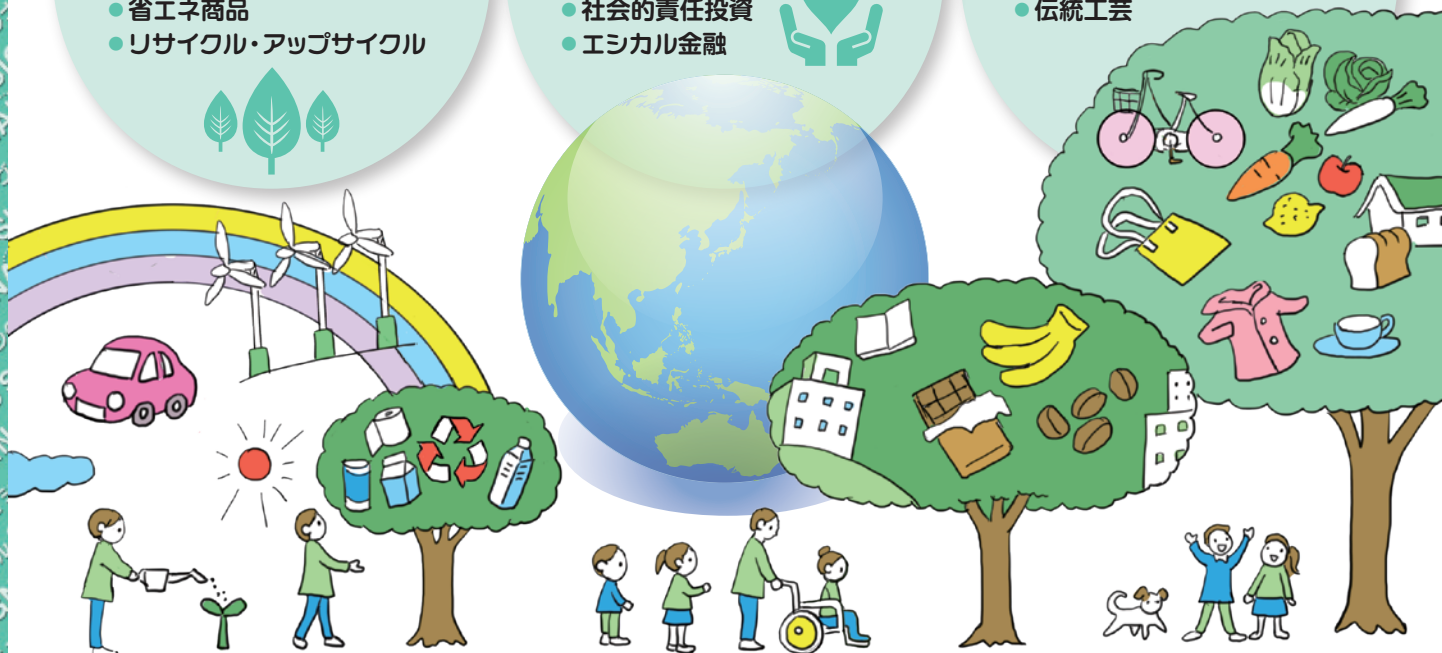
社会への配慮

- フェアトレード製品
- 障がい者支援につながる製品
- 寄付付き製品
- 社会的責任投資
- エシカル金融



地域への配慮

- 地産地消
- 地元商店での買い物
- 応援消費
- 伝統工芸



◎目黒区の消費生活相談の現状について / ◎子ども向け企画：キッズCon.チャレンジ

目黒区消費生活センター
平日 9:30～16:30 (受付は16:00まで)

相談
専用

TEL 03-3711-1140

消費生活で困ったときはすぐ相談!

目黒区消費生活センター



エシカル消費で未来が変わる!

私たちの社会が抱える課題

私たちの生活を彩る便利な商品やサービスを、誰がどのように作っているかを知っているでしょうか。実は世界の子ども10人に1人が児童労働に従事しており、カカオやコットンなどの生産で児童労働が起こっているとされています。遠い途上国で子どもが働くことにより作られたカカオやコットンは、チョコレートや衣服に生まれ変わり、私たちの生活の一部になっています。児童労働は、子どもが自分の力で命を守り将来を切り拓く可能性を妨げ、未来を奪うと言われていますが、その事実にも私たちが関わっているかもしれないのです。

児童労働以外にも、気候変動、生物多様性の減少など、私たちの社会は多くの課題を抱えています。

2022年にパキスタンで発生した大洪水により、国土の3分の1が水没し、1,500人近くが亡くなりました。この災害は、地球温暖化が原因でモンスーン時期の降雨量が増加したために発生しました。このような気象災害は増加しており、過去50年間で5倍になっています。生物多様性も危機的状況です。環境NGOのWWFは、1970年と比べると約70%も生物多様性は減少していると報告しました。

大量生産・大量消費も大きな課題です。現代社会では多くのモノが簡単に手に入りますが、この大量生産・大量消費社会は大量廃棄や資源の枯渇、気候変動や生物多様性の減少などの弊害も生み出しています。

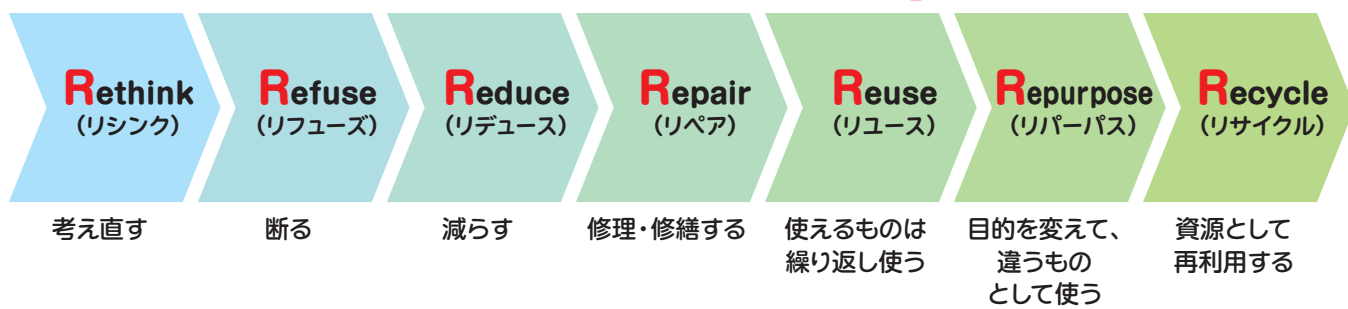
エシカルを通して変わる消費と生活

これらの社会課題に対して生活者ができることが「エシカル消費」です。エシカルとは倫理的という意味で、エシカル消費は地域の活性化や雇用なども含む、人権・社会・地球環境に配慮した商品やサービスを選ぶことです。目の前の商品がどのように作られて、自分は何を選んでどう使っていくか、モノの過去・現在・未来を考えて選択することがエシカル消費ともいえます。「買い物は投票」と言われるように、消費は企業に対する意思表示であり、大きな力になります。消費者が求めていると

分かれば、企業もエシカルな商品・サービスを積極的に提供するでしょう。

エシカルな暮らし方の実践では、7Rを取り入れることが有効です。Rethink (モノがいるかどうかを考え直す)、Refuse (いらないときは断る)、Reduce (モノの消費量を減らす)、Repair (修理・修繕する)、Reuse (使えるものは繰り返し使う)、Repurpose (目的を変えて、違うものとして使う)、Recycle (資源として再利用する)。既に取り入れているものもあるのではないのでしょうか。

エシカルな暮らしのヒント 7R



エシカルな商品の見極め方

エシカル消費は幅広い分野にわたります。どこから始めれば良いかわからないときは、認証マーク付きの商品を選ぶことがお勧めです。例えば、国際フェアトレード認証は、開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、立場の弱い開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す仕組みです。実は生活に身近なパーム油の持続可能性に配慮したRSPO認証や、水産資源と環境に配慮した持続可能な漁業で獲られた水産物に付けられるMSC「海のエコラベル」などもあります。スーパーやコンビニなど身近なお

店でも、これらの認証マークを見る機会が増えています。

認証マークが付いていなくてもエシカルな商品はありますが、どうやって見つければ良いかわからない場合には、生産者の想いを知ることも有効です。ソーシャルネットワークサービス(SNS)によって、生産者の声を聞ける場が増えています。環境や人権に配慮した原材料を選んでいる、ごみが出にくい商品の設計にしているなど、それぞれのエシカルなストーリーに耳を傾けることもエシカル消費の第一歩です。

認証ラベルの一例



国際フェアトレード認証

生産者の暮らしの改善や自立の実現、環境保護を目指し適正な価格で取引をする商品に付けられる。



RSPO 認証

熱帯林の環境とそこに生息する生物の多様性に配慮し、生産者の暮らしを守る商品に付けられる。



MSC

「海のエコラベル」

水産資源や環境に配慮した漁業で獲られた水産物に付けられる。

(消費者庁「みんなの未来にエシカル消費」より)

エシカルの楽しみ方

エシカルについて知り、実践しようとするとうるさく悩みに直面するかもしれません。そんなときに仲間は心強い存在になります。家庭、学校、職場、地域コミュニティなどでエシカルについて話してみると、「実は興味がある」という人が見つかるかもしれません。それぞれの悩みや工夫、おすすめの商品やお店などを仲間に話すことによって、エシカルの楽しみ方が広がることもあるのではないのでしょうか。

エシカルな暮らしを実践して、周りに共有することで輪が広がる、それが未来を変える力になるはずです。



情報収集先の紹介



消費者庁 エシカル消費とは



一般社団法人日本エシカル推進協議会



一般社団法人エシカル協会

監修：一般社団法人エシカル協会



目黒区の消費生活相談の現状について

◎令和4年度の受付状況

相談受付件数は、2,568件で前年度に比べて88件増加しました（前年度は2,480件）。契約内容が複雑化し、相談者自身での解決が困難になって、相談員があっせんした相談は、164件（全体の6%）ありました。

◎相談内容の実態

商品・サービスの内容別にみると1位は「化粧品」に関する相談です。化粧品の定期購入に関することや「肌に合わないため解約したいが、電話が繋がらない」という相談もありました。

2位は「賃貸アパート」に関する相談です。原状回復及び敷金返還トラブル、住宅設備の不具合などに関する相談でした。

3位は、商品名が特定できない「商品一般」に関する相談です。身に覚えのない商品が送られてきた、公的機関や通販会社を装った不審なメールが届いたなどの相談がありました。

（分類は、独立行政法人国民生活センターPIO-NETの商品分類を参考にしています）

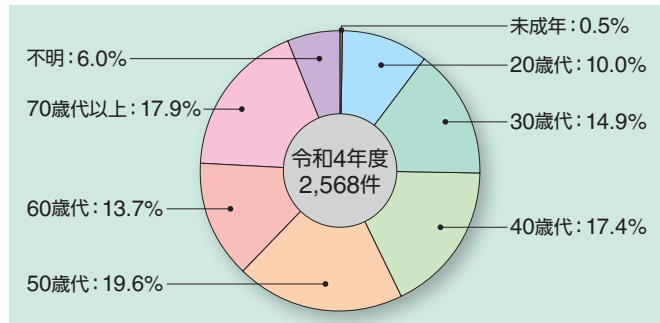
①	化粧品（定期購入や解約の連絡がつかないなど）	197件
②	賃貸アパート（原状回復・敷金返還トラブルなど）	163件
③	商品一般（身に覚えのない商品、不審なメールが届くなど）	158件
④	工事・建築（リフォーム工事、屋根・壁補修工事など）	107件
⑤	エステティックサービス	81件

◎最近の相談の特徴

販売形態では、「通信販売」が全体の4割を超えています。新型コロナウイルスの感染拡大期間中に、ネット通販を利用する人が増えたことが要因と思われる。

また、「ネットショッピングで代金を振り込んだが商品が届かない」「お試しのつもりで注文したが定期購入だった」「届いた商品が偽物」という消費者被害についての相談が目立っています。

年代別では、前年度に比べ、20歳代から40歳代では、減少の傾向が見られますが、50歳代以上ではやや増加しています。特に50歳代は、全体の2割近くを占めています。



◎消費者として留意すること

消費者被害に遭わないためには、消費者も契約に関する正しい知識を持ち、適切な対応を取れるようにすることが肝心です。例えば、通信販売では契約条項をよく読んでから契約する、訪問販売では不要なものは玄関先できっぱり断る、うまい儲け話は安易に信用しないことなどです。

また、高齢者などの場合は、周囲の方の見守りも大切です。少しでも疑問に思ったら、迷わず消費生活センターへご相談ください。悪質商法対策の出張講座も実施しています。ぜひご利用ください。新たな消費者被害防止のための情報提供も願います。

夏休み子ども向け企画 キッズCon.チャレンジ

子どもたちに小さな消費者（コンシューマー〈Con.〉）としての力と知識を身に付けてもらうための、楽しく参加できるイベントです。夏休みの自由研究のヒントにも、ぜひお役立てください。

開催講座

手作り乾電池教室／7月26日（水）

①10:30～12:00 ②14:00～15:30

フェアトレードってどんなこと？／8月7日（月）

⑤10:30～12:00 ⑥14:00～15:30

お金って何？／8月2日（水）

③10:30～12:00 ④14:00～15:30

ネット・スマホをかしく使おう！／8月9日（水）

⑦10:30～12:00 ⑧14:00～15:30

小学生向けパネルクイズ

消費生活に関するパネルクイズを、消費生活センターで開催します。挑戦者には参加賞があります。日時は7/24（月）～8/23（水） 土・日曜日、8/11を除く

※詳細は区報7月1日号・目黒区ホームページをご覧ください。

シグナル119号に関するご意見や今後の発行に関するご要望をお寄せください。

目黒区消費生活センター （目黒区産業経済部産業経済・消費生活課）

〒153-0063 目黒区目黒2-4-36 目黒区民センター内
TEL：03-3711-1133 FAX：03-3711-5297

発行

目黒区 消費生活 🔍 検索

メールマガジンを
配信しています。

